



生きものの“つぶやき”：
「どこまで伸びればいいのか」

エッセイ：

壮大な竹林の風景が楽しめる大人気の京都「竹林の小径」では、真夏でも涼やかで、サラサラになびく葉っぱの音や幹同士がぶつかり合う音も魅力だった。

また、多くの観光客に期待されているこの竹林は、観光客の期待を裏切らないためにも、どこまで伸びればいいのか悩んでいるように見えた。しかし、しっかり期待に応えようとする竹林は、私の心に届いた。竹の花言葉のように、「節度」や「まっすぐなしなやかな強さ」が伝わってきた。(201字)

生きものの紹介:

竹 (主にモウソウチク): イネ科・竹亜科

原産九州地方 竹林英語で「Bamboo forwst」

撮影場所・日時:

京都府京都市左京区嵯峨野々宮町 2024年8月11日

応募者の自己紹介:

1. 氏名: 横堀 優
2. 高校・学年: 佐野日本大学高校・1年
3. 所属: ソフトテニス

審査員からのコメント:

「つぶやき」に、着想した高校生が重ね合わされた。
何気ない眩きですが、竹の高さを出せている構図が良いと思いました。
プロ並みの写真。